

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 25-1-157
補助事業名 平成25年度 地域ふれあい交流事業 補助事業
補助事業者名 和歌山県立和歌山さくら支援学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

和太鼓演奏を通して障害の有無に関係なく同世代の高校生たちの交流及び共同学習を推進する。

地域での演奏活動により表現する喜びを知るとともに地域の方々との交流を図る。

(2) 実施内容

「地域ふれあい交流事業」 <http://www.sakura-sh.wakayama-c.ed.jp/ringring.pdf>

ア 練習風景

演奏の目的に合わせてAチーム・Bチームを結成する。Aチームには併置する高等学校の生徒も参加。



イ 2013.11.15 「和歌山西高校、和歌山北高校西校舎文化祭」での発表
高校生の舞台発表プログラムの一部として発表し、高校生からも好評を得る。



ウ 2013. 12. 03 和太鼓奏者嶋本龍氏によるワークショップ

和太鼓奏者嶋本龍氏から和太鼓演奏に係る心構えも含めた指導をいただく。



エ 2014. 02. 08 「さくらフェスティバル」での発表

本校高等部祭での舞台発表では、Bグループの生徒たちも和太鼓演奏を楽しんだ。



オ 2014. 03. 02 「第37回障害児者家族のつながりを広める文化祭」での発表

のべ入場者4,000名のイベントでの演奏。来場者からは大きな拍手をいただく。



2 予想される事業実施効果

(1) 併置する高等学校生徒との交流

ア 本校高等部生徒との同年代の交流

今回の和太鼓演奏の取組を通して、高等学校生徒の中にも和太鼓に対して興味を示す生徒も見られた。同じ校地内に併置する特色を生かし和太鼓練習を一つの契機として交流を進めていきたい。

イ 本校の知的障害のある小中学部児童生徒及び肢体不自由児童生徒へのボランティアとしての交流

平成26年度4月、本校は小学部・中学部・高等部の児童生徒が通う知肢併置校として全面開校する。近い将来、高校生を対象にボランティア養成講座を開講する予定である。その際、学習発表会等において児童生徒のボランティアとして和太鼓演奏に参加し交流を深めることができる。

(2) 地域との交流

和太鼓のご指導をいただいた和太鼓奏者嶋本龍氏から、引き続きご指導いただくとともにオリジナル曲も提供いただくこととなった。今回、プロの方の指導により格段にスキルアップするとともに、オリジナル曲も提供いただくことにより地域での催し物にも積極的に出演していきたい。すでに平成26年8月に行われる近隣自治会主催の夏祭りに出演依頼をいただいている。

3 本事業に係る成果物

無し

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 和歌山県立和歌山さくら支援学校（ワカヤマケンリツワカヤマサクラシエンガッコウ）

住 所： 〒640-0112

和歌山県和歌山市西庄1148-1

代 表 者： 校長 三反田 和人（サンタンダ カズヒト）

担 当 者 名： 教頭 大城 秀夫（オオシロ ヒデオ）

電 話 番 号： 073-453-0303

F A X： 073-453-0789

E - m a i l： postmaster@sakura-sh.wakayama-c.ed.jp

U R L： <http://www.sakura-sh.wakayama-c.ed.jp/>